

平成 26 年度経営計画

1. 業務環境

(1) 京都府の景気動向

京都府の景気動向は、政府の金融・財政政策等による効果もあり、緩やかに回復してきています。

製造業の生産活動は、一般・精密機械で自動車向けや半導体関連が好調なほか、電子部品・デバイスでは、自動車、太陽光発電関連、スマートフォン向けで高い操業度を維持し、輸出についても緩やかに増加しています。一方、和装関連については、低水準の生産が続いています。

また、設備投資は、製造業を中心に能力増強投資や更新投資等に踏み切る先が増えるなど持ち直しつつあり、住宅投資、公共投資はともに前年度を上回って推移しています。

(2) 中小企業を取り巻く環境

政府の金融・財政政策等による効果を背景に景気回復の裾野は広がっていますが、中小企業・小規模事業者においては景気回復の実感が十分に行き渡っていない状況にあります。

また、消費税率引上げに伴う駆け込み需要とその反動、円安等によるコストアップの価格転嫁など先行きについては不透明感が漂っています。

2. 業務運営方針

このような状況の中、当協会は地域密着型信用保証協会として関係機関と連携し、オール京都体制で中小企業者等に寄り添った伴走支援を行い、金融と経営の総合的サービスを推進します。また、中堅・若手職員による「次の一手プロジェクト」を中心に、全職員で保証協会の新たなビジネスモデル、顧客サービスを創造し、「総合支援サービス機関」を目指した取組みを推進します。

コンプライアンス及び危機管理態勢については一層の強化を図り、より信頼される保証協会を目指すとともに、風通しの良い職場環境作りと人材育成を進めます。

これらを踏まえ、平成26年度は以下に掲げる事項を主要項目として取組んで参ります。

(1) 金融と経営の総合的サービスの推進

- ① オール京都による新たな統合型中小企業支援モデルを構築し、中小企業者等に寄り添った金融・経営支援を行います。
- ② 中小企業診断士等と連携した専門家派遣事業（京都バリューアップサポート）を活用した経営支援を推進します。
- ③ 保証後の継続的なフォローアップ、積極的な再生支援等の取組みにより中小企業者等の経営改善を支援します。
- ④ 行政、金融機関、関係機関等との連携を図り、事業承継・創業支援を強化します。
- ⑤ 京都府、京都市協調融資制度を保証推進の柱とし、政策保証や金融機関との提携保証の推進を図ります。

(2) 回収の合理化・効率化

- ① 代位弁済後に実施する初回管理方針や定期的な管理方針協議を行い、統一的な債権管理を行います。
- ② 地図情報システムを活用した現地訪問や自動督促機能を活用した督促により、債務者・保証人等との交渉頻度を高め、効果的な回収に努めます。
- ③ 個別企業の実態把握に努め、適時適切な法的措置を講じるとともに、管理事務停止や求償権整理を推進します。

(3) コンプライアンス態勢の一層の推進とガバナンスの強化

- ① 公的機関として健全で透明性の高い業務を行うために、コンプライアンス態勢の充実・強化を図ります。
- ② 公平・平等・公正な審査を徹底し、反社会的勢力等の案件については、関係機関と緊密な連携を図り徹底排除します。
- ③ 内部検査を適切に実施し、適正な業務運営を確保します。
- ④ 個人情報保護法を遵守するとともに、個人情報の適切な管理に努めます。

(4) 風通しの良い職場環境作りと人材育成

- ① 職場間の情報共有とともに柔軟な発想で知恵を出し合い、風通しが良く働き甲斐のある職場環境作りを推進します。
- ② 外部及び内部研修の充実を図るなど人材育成に努めます。

(5) 情報発信の推進

当協会の取組みについて、中小企業者等をはじめ経済団体などの関係機関に理解してもらえるよう、機会あるごとに情報発信を行います。

(6) 利便性向上を目指した環境整備

本所及び宇治支所について、事務所移転に向けて引き続き環境整備を進めます。

3. 保証承諾等の見通し

平成 26 年度の保証承諾等の主要業務数値（見通し）は、以下の通りです。

項 目	金 額	前年度計画比
保 証 承 諾	2, 7 0 0 億円	9 0. 0 %
保証債務残高	8, 5 0 0 億円	9 5. 5 %
代 位 弁 済	2 5 0 億円	8 3. 3 %
回 収	4 2 億円	1 0 0. 0 %